

まちのわだい

新成人のつどいを開催

1月12日、新成人のつどい(成人式)を芸術文化センター ポポロで開催しました。式典には新成人676人が出席。新成人を代表し中本翔太郎さんと口井佳音さんが「新たな時代の開拓者として自覚と責任を持ちたい。ふるさと三原を支える原動力になれるよう、夢や目標に向かって頑張っていく」と誓いの言葉を述べました。式典の後には、南小学校の児童によるやっさ踊りや、如水館高等学校チアリーディング部による演技が行われ、新成人の門出を祝いました。

☎生涯学習課(☎0848・67・6147)



瀬戸内マリンビューラストラン見送りイベントを開催

12月22日、平成17年から多くの乗客を運んできたJR呉線の観光列車「瀬戸内マリンビュー」が運行を終了するのに合わせ、JR三原駅で見送りイベントを開催しました。ホームには市民や鉄道ファンら約150人が集まり、手旗を振って瀬戸内マリンビューのラストランを見送りました。今年の秋には新たな観光列車「etSETOra(エトセトラ)」が導入される予定です。

☎観光課(☎0848・67・6014)



防火・防災への決意新たに消防出初式

1月12日、消防出初式を消防本部(宮浦一丁目)で開催しました。消防職員や消防団員ら約700人が参加し、防火・防災への決意を新たにしました。式では団員たちが息の合った行進を披露。市内の各方面隊を代表して7分団が放水演技を行うと、来場者から拍手が送られました。

☎消防本部
警防課(☎0848・64・5924)



総合技術高の生徒が米粉スイーツを開発

1月10日、総合技術高等学校現代ビジネス科の3年生が、市や(株)八天堂、(株)フレスタと共同開発した米粉を使ったスイーツの完成報告のため市役所を訪れました。商品名は「せとうちレモンパーネ」。三原の米粉を使用したカスタードと県内産のレモンジャムで作ったクリームパンをクッキー生地で包んでいます。商品は2月15日に八天堂の市内店舗とフレスタ各店(一部を除く)で限定販売されます。

☎観光課(☎0848・67・6015)



災害時の避難所運営を考える講演会を開催

1月19日、市防災ネットワーク講演会をリージョンプラザで開催し、市民や防災関係者ら約150人が参加しました。講演会では、平成30年7月豪雨の際に避難所運営に携わった沼田西連合町内会の宮垣里枝さんが事例を紹介したほか、兵庫県立大学大学院の阪本 真由美准教授が避難所を円滑に運営するポイントを説明。阪本准教授は「地域住民全員がそれぞれに役割を担う『協働型』の運営を行うことが大切」と話しました。

☎危機管理課(☎0848・67・6066)

